

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年6月15日(2017.6.15)

【公開番号】特開2017-12811(P2017-12811A)

【公開日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2017-003

【出願番号】特願2016-181798(P2016-181798)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月28日(2017.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の遊技球を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技球を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と、

前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技球を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を備えた遊技機であって、

前記球送り手段は、金属板材からなる不正防止部材を具備し、

前記金属板材は、遊技球に付された線材が進入しうる隙間が形成されるように屈曲しており、遊技球に付された線材が前記隙間に進入することで、線材を用いた不正行為を困難にするものであり、

当該遊技機に前記球送り手段が設けられている状態であっても、前記金属板材が設けられているか否か確認できるように構成され、

前記通過口は、前記金属板材における前記隙間と連通しており、

前記金属板材の前記隙間は、前記通過口の、前記発射位置から発射された遊技球の進行方向側に位置し、

前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な斜状の誘導部が形成され、

前記球送り手段には、前記金属板材を収容可能な収容部と、前記金属板材の取り付けに際して前記金属板材の位置合わせが可能な位置合わせ部が設けられる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機等の遊技機では、本体枠と扉枠との隙間からピアノ線等の細長い不正工具を遊技領域内に侵入させて、受入口への遊技媒体の受入れを検知するセンサを誤作動させた

り、遊技領域内に植設された障害釘を曲げたりする不正行為が行われる問題があった。この問題に対して、扉枠を開閉可能に支持する一対のヒンジ機構の間に、弾性変形可能な板状のガイド部を備え、扉枠と本体枠の間にボール等を挿入して隙間を広げようとしても、弾性変形するガイド部によって隙間を覆って不正工具を挿入することができないようにしたものが提案されている（例えば、特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

【特許文献１】特開２００８－７３３４０号公報

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

しかしながら、従来の遊技機では、線材を取り付けた遊技媒体を、通常の遊技媒体と同様に貯留部から遊技領域内へ発射して行うような不正行為については考慮されていなかった。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

そこで、本発明は上記の実情に鑑み、遊技媒体に線材を付着して行われる不正行為を抑止することが可能な遊技機の提供を課題とするものである。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

手段１：複数の遊技球を貯留可能な貯留手段と、
前記貯留手段に貯留された遊技球を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と、
前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技球を遊技領域に向けて一つずつ
発射可能な発射手段と、
を備えた遊技機であって、
前記球送り手段は、金属板材からなる不正防止部材を具備し、
前記金属板材は、遊技球に付された線材が進入しうる隙間が形成されるように屈曲して
おり、遊技球に付された線材が前記隙間に進入することで、線材を用いた不正行為を困難
にするものであり、
当該遊技機に前記球送り手段が設けられている状態であっても、前記金属板材が設けら
れているか否か確認できるように構成され、
前記通過口は、前記金属板材における前記隙間と連通しており、
前記金属板材の前記隙間は、前記通過口の、前記発射位置から発射された遊技球の進行
方向側に位置し、
前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な斜状の誘
導部が形成され、
前記球送り手段には、前記金属板材を収容可能な収容部と、前記金属板材の取り付けに
際して前記金属板材の位置合わせが可能な位置合わせ部が設けられる
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

この発明によれば、遊技媒体に線材を付着して行われる不正行為を抑止することが可能
な遊技機を提供することができる。